

「一絨毛膜二羊膜双胎のお子様の短期および長期予後の検討」へのご協力をお願い

神奈川県立こども医療センター新生児科では、当院で出生された一絨毛膜二羊膜双胎のお子様を対象に、脳室内出血や脳白質病変などの短期合併症と、長期予後について振り返る検討を行っています。当院で診療を受けたお子様の予後を確認する事は、治療方針を考える際に有用と考えています。

研究課題名	一絨毛膜二羊膜双胎児の短期および長期予後についての検討
研究の対象	2011 年から 2024 年に出生した一絨毛膜二羊膜双胎のお子様。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	一絨毛膜二羊膜双胎の場合、お互いの臍帯動脈、臍帯静脈が繋がっていると、きょうだいの間で血液のやり取りを行うため、胎児期から循環（全身の血の巡り）が不安定になりやすく、出生後も影響が出ることが知られています。循環が不安定であると、脳室内出血や脳室周囲白質軟化症、腸管穿孔、腎障害などの合併症が起きることがあります。早産児の救命率は周産期医療の向上によって上昇していますが、一絨毛膜二羊膜双胎のお子様は単胎のお子様に比べて循環が不安定になりやすいため、より良く救命することが周産期医療の課題です。また、単胎や二絨毛膜二羊膜双胎のお子様に比べて発達に特徴が出ることもあるため、長期的な外来フォローアップも大切です。今回、一絨毛膜二羊膜双胎のお子様の短期合併症の有無および長期予後について振り返り、今後の一絨毛膜二羊膜双胎のお子様の診療の助けにすることが目的です。
研究期間	2025 年 6 月 ～ 2028 年 7 月
研究に使用する試料・情報の項目	患者基本情報（出生週数、体重、性別）、急性期の血流、血圧、心拍数、尿量などの入院経過および短期合併症の有無（脳室内出血、脳室周囲白質軟化症、腸管穿孔、未熟児網膜症など）、長期予後について（外来での診察状況、発達検査の結果など）
試料・情報の取得方法	診療録より後方視的に情報を収集します。
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	神奈川県立こども医療センター新生児科 野口崇宏

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報が外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究には開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。この研究においてはあなた又はあなたのお子さんの情報は使用しませんし、既に情報を抽出しているときは削除します。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
新生児科 野口崇宏
Tel : 045-711-2351 内線 2212

相談窓口 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212

けんきゅう きょうりょく ねが 研究への協力のお願い



かながわけんりつ いりょう しんせいじか びょういん う いちじゅうもうまくにようまく
神奈川県立こども医療センター 新生児科では「この病院で生まれた一絨毛膜二羊膜
そうたいじ たんき ちょうきよ ご けんきゅう おこな けんきゅう びょういん
双胎児の短期および長期予後」について 研究を行っています。この研究はこの病院
う いちじゅうもうまくにようまくそうたいじ みな にゅういんちゅう じょうきょう がいらい ようす
で生まれた一絨毛膜二羊膜双胎児の皆さんの入院中の状況や外来の様子をまとめること
おな よう とくちょう う かんじゃ にゅういんちゅう ちりよう がいらい こと こま
で同じ様な特徴で生まれた患者さんの入院中の治療や、外来でどのような事に困る
かのうせい よそく やく た かんが
可能性があるかを予測することに役に立つと考えています。

- 1 いちじゅうもうまくにようまくそうたいじ たんき ちょうきよ ご けんとう
一絨毛膜二羊膜双胎児の短期および長期予後についての検討
(対象者：2011年～2024年までに当センターで生まれた一絨毛膜二羊膜双胎児の患者さん)
- 2 けんきゅう みな ねが
この研究で皆さんにお願いしたいこと
いちじゅうもうまくにようまくそうたいじ とうせんたー えぬあいしーゆー にゅういん ひと けんさ けっか
「一絨毛膜二羊膜双胎児で当センターのNICUに入院した人の検査の結果や
にゅういんちゅう がいらい きろく けんきゅう しょう
入院中、外来のカルテの記録を研究に使用するので見せてください（病名
や治療方法など）」
- 3 けんきゅうき かん ねん がつ ねん がつ
研究期間 2025年4月 ～ 2028年7月まで
- 4 けんきゅう ひと のぐち たかひろ
研究をする人 野口 崇宏



けんきゅう けんきゅう かん き まち みな こじんじょうほう
この研究は、研究に関するいろいろな決まりを守って行います。皆さんの個人情報やプ
ライバシーをまも けんきゅう けっか はっぴよう とき だれ
ライバシーを守り、研究の結果を発表することがありますが、その時も誰のことかわから
ないように はっぴよう
発表します。

じぶん けんきゅう つか おち せんせい いえ ひと つた
自分のことは研究に使わないでほしいと思うときは、先生や家の人に伝えてください。
とき けんきゅう つか つか い びょういん しんさつ
その時は研究に使うことはありません。使わないでほしいと言っても、病院での診察や
ちりよう かんごし いりょう たいおう か ねが
治療、看護師など医療スタッフの対応は変わりません。よろしくお願いします。



れんらくさき けんきゅうせきにんしゃ しんせいじか
連絡先 研究責任者 新生児科

のぐち たかひろ
野口 崇宏

でんわ：045-711-2351